

- ジャパニーズエッセンスレザー (Japanes Essence Leather)

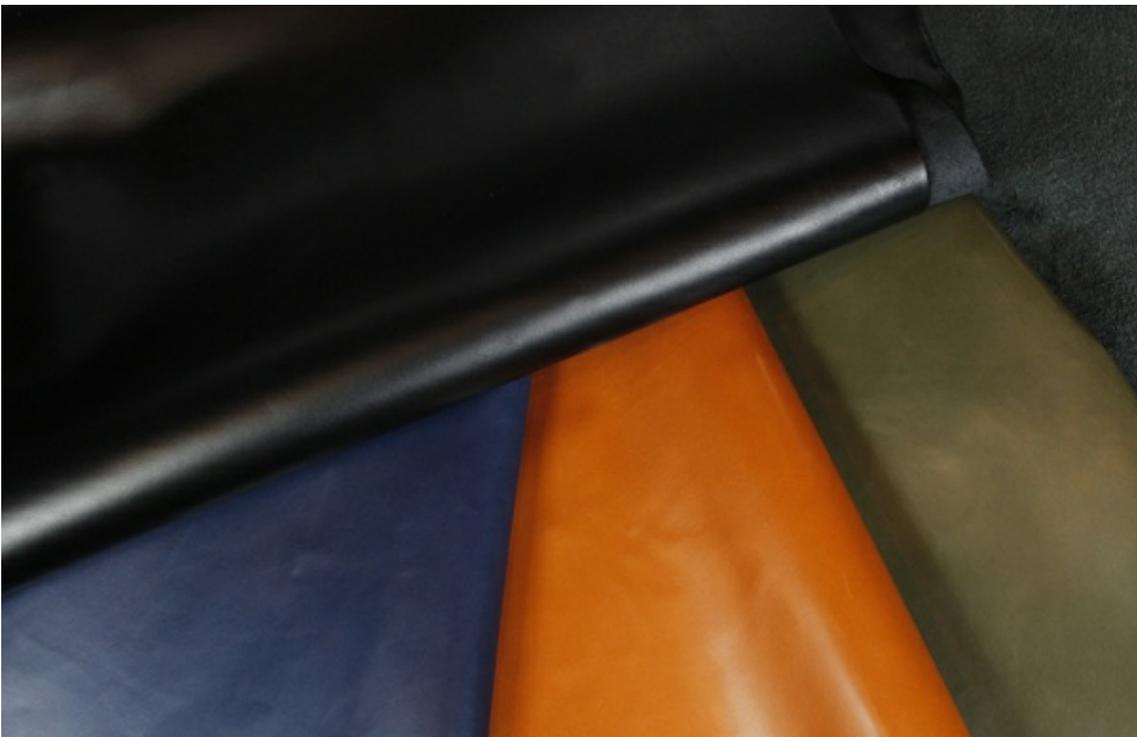


日本のエッセンスを抽出した存在感ある色が特徴

日本の伝統色を再現する為の開発費を惜しみなくかけたプレミアムな革所有者を楽しませながら、ゆっくりと豊かにエイジング  
革感は、柔らかで上質な質感でゆっくりと艶が増す

染料仕上げ/タンニン鞣し

- ナチュラルグロスレザー (Natural Gloss Leather)



キメが細かい肌感とハリ感、上品な艶が特徴

ハリが有りつつも柔らかでキメが細かい上品な革  
色の変化が軽微で艶が増すエイジング  
清潔感ある革の表情が長く保てる仕様

染料仕上げ/クロム鞣し

ジャパニーズエッセンスレザー  
(Japanes Essence Leather)  
バリエーション



■藍墨茶(あいすみちゃ)

藍味を帯びた黒色で一件落着の意味を持つ  
平和を連想させる緑起の良い色  
江戸中期～後期に愛用された



■井鼠色(どぶねずみいろ)

派手な色が禁止された江戸中期から流行った色  
当時、庶民が地味な色しか羽織れなかった、その地味な色の中でも  
違いを出す為に茶色48色、鼠色100色が生み出された



■藍色(あいいろ)

日本人の民族色と言える程、日常生活に根付いた色  
海外からはジャパンブルーと呼ばれる日本を代表する色



■樺色(かばいろ)

樺色とは、水際周辺に生息する蒲の花穂の色に似ている事から由来する  
派手な色を禁じられていた江戸時代、人気があった色



■紅の八塩(くれないのやしお)

奈良時代の紅花染めの名  
当時は、高級で贅沢な代物として禁色だった  
位の高い人以外、着用が許されなかった高貴な色、また貴族の憧れの色であった



■鶯色(うぐいすいろ)

鶯を飼う事が流行した江戸時代に誕生  
渋くお洒落な鶯色が当時流行ったとされている  
鶯の鳴き声を聞くことと幸運が訪れると言われる縁起の良い鳥の色

ナチュラルグロスレザー  
(Natural Gloss Leather)  
バリエーション



■Black



■Black×Navy



■Navy



■Navy×Light Brown



■Black×Light Brown



■Light Brown



■Olive



■Olive×Light Brown